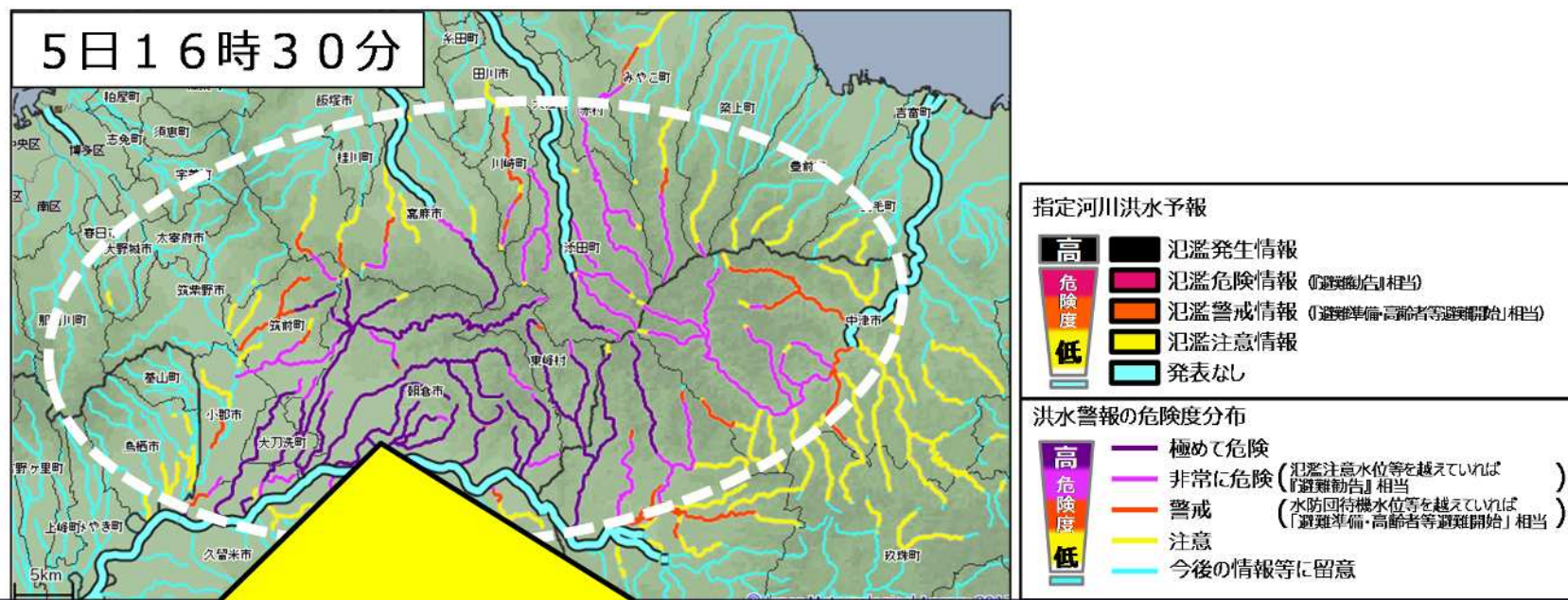


サンプル

大雨と突風に関する九州北部地方(山口県を含む)気象情報 第6号

平成29年7月5日16時50分 福岡管区気象台発表

福岡県・大分県では、すでに過去の重大な洪水害発生時に匹敵する極めて危険な状況(濃い紫)となっている領域が急速に拡大しています。



「極めて危険」(濃い紫)の場所では、河川から氾濫した水により道路冠水等が発生し、すでに避難が困難となっているおそれがあります。上流の危険度の高まりは、その後、下流に移動してくる傾向があります。下流においても、水位計で現況も確認の上で、速やかに安全な場所に避難することが重要です。

最新の洪水警報の危険度分布はこちら (<https://www.jma.go.jp/jp/suigaimesh/flood.html>) を確認してください。引き続き気象台の発表する防災気象情報に留意してください。